企業・団体名（サントリープロダクツ（株）天然水南アルプス白州工場）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

【基本的な事項】

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	サントリーグループとして、「サントリーグループ人権方針」を制定し、加えて「サントリーグループ企業倫理綱領」を定め、「5.ダイバーシティ・人権尊重とより良い労働環境の実現」に「5.2 差別・ハラスメント」を設けている。 役員・従業員には少なくとも年に一度はｅラーニング等で教育を行い、該当事案の有無を確認している。また通報窓口を社内・社外に設けている。					○			○		○						○	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	サントリーグループとして、「サントリーグループ人権方針」を制定し、加えて「サントリーグループ企業倫理綱領」を定め、「5.ダイバーシティ・人権尊重とより良い労働環境の実現」に「5.2 差別・ハラスメント」を設けている。 役員・従業員には少なくとも年に一度はｅラーニング等で教育を行い、該当事案の有無を確認している。また通報窓口を社内・社外に設けている。					○			○								○	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	労働組合を結成しており、労使双方において毎月、労働時間の確認が行われている。毎日の労働時間データは記録・管理されており、このデータをもとに工場幹部がメンバーの適正労働に向けた業務管理を行っている。								○									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	サントリーグループとして、「サントリーグループ人権方針」を制定し、加えて「サントリーグループ企業倫理綱領」を定め、「5.ダイバーシティ・人権尊重とより良い労働環境の実現」に「5.2 差別・ハラスメント」を設けている。 役員・従業員には少なくとも年に一度はｅラーニング等で教育を行い、該当事案の有無を確認している。また通報窓口を社内・社外に設けている。				○				○		○							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	2010年2月に制定した「サントリーグループ生産研究安全衛生基本方針」に則り、人の健康と安全はすべてに優先するという考えのもと、最優先課題として労災ゼロ化活動に取り組んでいる。工場内では、危険な作業を抽出し、安全に作業できるよう設備改造や安全手順の制定と教育を行っている。加えて、週に数度、工場幹部を中心に作業現場に対して安全パトロールを行い、不安全行動・不安全箇所の抽出と是正指導を行っている。			○					○									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	定期的な自己ストレスチェックのほか、「メンタルヘルスハンドブック」を社内で制定し、従業員への周知とマネジャーによるラインケア教育も行い、早期発見できる体制を整えている。特に新入社員や転入者・場内異動者に対しては、社外カウンセラーとの面談を必須として、メンタル不調の早期発見に努めている。			○														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	サントリーグループとして、「サントリーグループ人権方針」を制定し、加えて「サントリーグループ企業倫理綱領」を定め、「5.ダイバーシティ・人権尊重とより良い労働環境の実現」に「5.5 風通しの良い職場風土」を設けている。 役員・従業員には少なくとも年に一度はｅラーニング等で教育を行い、該当事案の有無を確認している。また通報窓口を社内・社外に設けている。					○			○		○							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	「サントリーウォーク」と称して、従業員の歩数を集計し、歩いて健康増進を目指す全社活動に毎年参加し、工場独自で場内上位者を表彰している。			○					○									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	社内外で開催される研修について、おすすめ研修を従業員に提示し、複数年にかけて取得計画を作成している。				○				○	○								
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済									○		○							

11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	ISO14001を導入し、廃棄物の分別管理と適切な廃棄フローの下に処理を行っている。 廃棄物については100%再資源化に取り組んでいる。										○	○		○			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	工場全体／製造ライン／製造工程の各レベルに分けて、月次単位で使用状況につき、前年・前月との比較から効率良化／悪化の原因追及を行い、必要な対策を講じている。							○						○				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	月次単位でGHG排出量の把握ができるよう、全社システムを活用している。また、本社部署と共同し、グリーン水素を製造する国内最大16メガワット規模の「P2G」（Power to Gas）システムの導入準備を進めている。							○					○	○				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	法令改正の最新情報の把握に努め、本社や研究部門と協力して可能な限り有害化学物質ではない物質への切り替えを進めている。 また使用に際しては、法令に基づき適切な使用に努めている。			○		○					○	○					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	「地下水」の安全・安心と、サステナビリティを守るために、サントリーグループでは、『国内工場で使用している量の2倍以上の地下水』を、工場の水源涵養（かんよう）エリアの森で育む、「サントリー天然水の森」活動を行っている。当工場では「天然水の森 南アルプス」として約2000haを設け、森林整備を行っている。					○									○		
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	サントリーグループとして『水理念』を2017年に策定し、水資源の状況に応じた取り組みの開発、推進を行っている。工場においては使用箇所ごとに必要な水質レベルを設定し、カスケード（多段階）利用といった高度な循環再利用を行い、水使用原単位で業界トップレベルを達成している。					○											
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	ISO14001を導入している。			○		○	○					○	○	○	○		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	全社活動ベースではあるが、ホームページで情報開示を行っている。											○					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	太陽光発電システムを設置している。加えて電力については100%再生可能エネルギー由来の電力を購入している。							○						○				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	「天然水」のペットボトルについては原料の3割を植物由来とし、ラベルにおいても国産ペットボトル飲料最薄更新となるロールラベルを採用している。											○	○	○	○		
21		【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	特にペットボトルにおいては「ボトルtoボトル」水平リサイクルの推進を行っている。 2022年北杜市はじめ甲府峡東4市、韮崎市とペットボトルのリサイクルに向けて共同宣言及び協定を締結した。					○					○	○	○	○	○		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	サントリーグループとして、「サントリーグループ企業倫理綱領」を定め、「2.誠実・公正な活動」に「2.3 腐敗行為」を設けている。 役員・従業員には少なくとも年に一度はｅラーニング等で教育を行い、該当事案の有無を確認している。また通報窓口を社内・社外に設けている。															○	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	サントリーグループとして、「サントリーグループ企業倫理綱領」を定め、「2.誠実・公正な活動」に「2.2 公正な競争」を設けている。 役員・従業員には少なくとも年に一度はｅラーニング等で教育を行い、該当事案の有無を確認している。また通報窓口を社内・社外に設けている。															○	
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	サントリーグループとして、「サントリーグループ企業倫理綱領」を定め、「6.情報と資産の管理・活用」に「6.4 知的財産」を設けている。 役員・従業員には少なくとも年に一度はｅラーニング等で教育を行い、該当事案の有無を確認している。また通報窓口を社内・社外に設けている。								○	○							
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	サントリーグループとして、「サントリーグループ企業倫理綱領」を定め、「6.情報と資産の管理・活用」に「6.3 個人情報」を設けている。 役員・従業員には少なくとも年に一度はｅラーニング等で教育を行い、該当事案の有無を確認している。また通報窓口を社内・社外に設けている。															○	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会																○	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会	本社の部署を通じて、サプライヤー様に要請をしている。				○			○		○		○	○	○	○	○	○

28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	サントリー品質保証方針「All for the Quality」を設け、工場においてはISO9001認証・FSSC22000認証の取得、TPMの導入を行っている。また、原料となる水については定期的に研究所に送り、分析・検査を行っている。			○									○					
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	サントリー品質保証方針「All for the Quality」を設け、工場においてはISO9001認証・FSSC22000認証の取得、TPMの導入を行っている。また、お客様から情報を頂戴するために、グループ全体として「お客様センター」を設け、より良い製品やサービスに反映できるような体制を整えている。									○								
30		【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境							○						○	○	○	○		
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	工場からの排水は、法・条例を満足する自社の管理基準を設け、基準を満たすもののみ排出をしている。 北杜市白州町地下水保全利用対策協議会に加盟し、近隣の尾白川・神宮川の環境保全活動に積極的に参加している。				○					○		○	○		○	○		○
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	「天然水の森」整備や、尾白川・神宮川の環境保全活動、北杜市の「あおぞら共和国」の施設・人工林整備に積極的に取り組んでいる。				○							○			○	○		○
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、社会、経済	「サントリー天然水」として、北杜市の地下水を利用した「ナチュラルミネラルウォーター」の販売をさせていただいている。								○	○		○	○	○				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	サントリーグループとして、「サントリーグループ企業倫理綱領」を定め、「2.誠実・公正な活動」に「2.1 法令遵守および規範・文化の尊重」を設けている。 役員・従業員には少なくとも年に一度はｅラーニング等で教育を行い、該当事案の有無を確認している。また通報窓口を社内・社外に設けている。																○	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	全社方針・本社方針との関連づけて、工場方針が掲げられ、各人の業務課題に展開されている。また、四半期ごとのマネージメントレビューにおいて、目標達成の度合いが確認されている。								○	○								○
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	本社部署による業務監査が定期的に行われ、また従業員教育を毎年ｅラーニング等で行い、該当事案の有無を申告できるようにしている。																○	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	受付窓口としての「お客様センター」、対応する部署として本社に「サステナビリティ経営推進本部」他が設けられている。																○	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	サントリーグループ全体として、2015年4月に「グローバルリスクマネジメント委員会（GRMC）」を設置した。このGRMCのもと、各事業会社にリスクマネジメント委員会やリスクマネジメントチームを設置している。																○	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、社会	本社に「サステナビリティ経営推進本部」他が設けられている。工場においては、対外折衝を行うグループを設けている。																○	
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	本社に「サステナビリティ経営推進本部」他が設けられている。工場においては、対外折衝を行うグループを設けている。																○	○
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	戦略・対応手順が定められており、社内のイントラネットに掲載されている。									○		○		○			○	

43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	社会、経済									○	○							○

【記載留意事項】
・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（２０２１年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むＳＤＧｓに関する内容（水素・燃料電池、４パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っている取組】も同様。）

【その他独自に行っている取組】

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17